

## 1. 第2次総合計画における令和元年度主要事業の成果

### (1) しごと・産業・交流

- ・浄法寺漆のさらなる振興へ、滴生舎の塗師3人を中心に、「浄法寺うるしび合同会社」を設立。漆器の製造販売や、情報発信業務を受託する。
- ・小西美術工藝社が、工房を旧御返地中の校舎の一部に開設することを決定。安定雇用と、官民あげでの漆産業の発展を目指す。
- ・「にのへ型テロワール」の推進を図るための情報発信を強化。ウェブサイトおよびSNS「ほんものにつぼんにのへ」の開設や、市内企業等の方々と「稼ぐ情報発信講習会」を開催。

#### ★今後の課題

- ・「二戸らしい」地域資源のみがき上げと、より有効的な発信
- ・見せる（魅せる）産業体験型観光への発展、振興

### (2) 子ども・若者・女性

- ・「第2期子ども子育て支援計画」策定
- ・「産後うつ」の発症や、新生児への虐待などを未然に防ぐため、すべての産婦を対象に、産後2週間の産婦健診費用の助成、ならびに新生児聴覚検査を行う「産前産後母子支援事業」を開始。
- ・若者の交流と地域の元気を創出する活動などを支援する「若者元気づくり交付金」を3団体に交付。子どもたちが、演劇や合唱などの芸術にふれるイベントや、地域に伝わるナニヤラに親しむイベントを開催し、多くのにぎわいが生まれた。
- ・市内すべての小学5、6年生を対象に、岩手日報「ジュニアウィークリー」の配布を開始。子どもたちが社会情勢への理解と活字にふれる機会を提供している。

#### ★今後の課題

- ・妊娠、出産期から子育て期まで、包括的に支援できる体制づくり
- ・子どもたちや若者が、地域の誇りと将来への希望を持って暮らせるまちづくり

### (3) 暮らし・安心・健康

- ・九戸城跡の第2期整備実施設計を行い、令和2年度からの整備方針を決定。また、「続日本100名城」スタンプラリーや、南部藩ゆかりの城を持つ市町村とともに、「城御朱印」の販売を開始。歴史ファンを中心に、多くの来場者が訪れた。
- ・天台寺は、防火施設の整備完了をもって、およそ400年ぶりの大改修が完了。
- ・防災行政無線の更新は、令和元年～2年度まで。デジタル化に伴う工事と、防災ラジオ配布に向けた準備を行った。
- ・東京五輪、パラ五輪競技大会に向け、ガボン共和国の復興「ありがとう」ホストタウンに登録。

#### ★今後の課題

- ・市民の心身の健康保持と暮らしに密着した生活基盤の整備、生活環境の充実による、快適で安全なまちづくり
- ・地域の歴史や文化を理解し、継承する人づくり

### (4) 地域力・行政力・共創

- ・公民連携まち再生事業、金田一温泉周辺地区では、温泉センターが解体完了。このほか、地元住民を中心としたワークショップを開催し、地域の特徴や資源を生かした楽しみ方などについて検討を行った。
- ・天台寺周辺の歴史と文化が体感できるまちづくりを進めるため、幅広い分野のメンバーが「ラジオ de ウォーキング」実行委員会を発足。
- ・斗米橋の橋梁補修や、中村杉中線の改良舗装などの道路整備を行ったほか、緊急自然災害防災対策事業として、おばし川（石切所）の河川改修などを行い、災害の未然防止に向けた整備を進めた。

#### ★今後の課題

- ・地域課題の解決に向けた市民参加の推進
- ・暮らしやすいまちづくりを支える社会基盤の計画的な整備